



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

平成26年度昭和大学入学式が、去る4月7日(月)午前10時より、新緑に囲まれた明治神宮記念館に於いて厳粛に執り行われました。今年度の新入生は、医・歯・薬・保健医療学部合わせて、575名(編入生を含む)でした。昭和大学管弦楽団による演奏に引き続き、小出良平学長の告辞と小口勝司理事長の祝辞がありました。新入生代表の薬学部 鹿間沙生さんのリードで、新入生ならびに昭和大学関係者全員で、昭和大学宣言を唱和しました。新入生歓迎行事実行委員(医学部の渡邊 健君、歯学部の山田樹里さん)の歓迎の挨拶に引き続き、恒例になった応援指導部による新入生歓迎演武があり、最後にグリークラブのリードで校歌を斉唱し閉会しました。昼前に新入生はバスに分乗して、富士吉田校舎に向かいました。



今年の歯学部入試では、昨年度よりも大幅に志願者が増加しました。その結果、例年にも増して資質の高い入学者を受け入れることができたと思います。新入生が、富士吉田校舎で多くの経験を積んで、大いに成長することを期待しています。



我が国が超高齢社会に突入したなかで、歯科医療を含めた高齢者医療の充実は待ったなしです。本歯学部では高齢社会の長寿健康に貢献できる資質の高い歯科医師を育成することを目標に掲げ、組織の改変や教育改革を進めてきました。本年度は本学の最大の特徴であるチーム医療教育の充実を図り、高齢者歯科医療教育を一層推進します。

一昨年度から文部科学省の事業として、連携大学ならびに地域歯科医師会と協同で「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」プロ

ジェクトを進めていますが、今年度は新しく作成した教材を昨年度の3年生に引き続き、4年生の「チーム医療と口腔医学」ユニットで運用します。これは、附属病院全体で実施している口腔ケアや、本学のチーム医療教育の要である学部連携病棟実習の基礎にもなります。さらに、昨年度トライアルで実施した3年次の地域医療実習を本年度から正式に必修としてスタートさせます。また、昨年度末にスキルズラボに高齢患者シミュレーターを整備しましたので、従来からの仮想患者システム、ロボット患者の活用に加えて、より実践的に高齢患者の病態把握やフィジカルアセスメントの訓練に活用して、学習効果を高めていく所存です。臨床実習では、電子ポートフォリオを導入して、診療参加型実習の充実を図る予定です。

今年度も本歯学部における教育のさらなる充実に、関係者のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 大学院入学式が挙行されました

歯学研究科運営委員長 井上 富雄

平成26年度大学院入学式が4月5日に上條講堂で医歯薬保の4研究科合同で開催されました。歯学研究科は一般選抜28名(秋季入学者1名を含む)、社会人特別選抜7名(秋季入学者3名を含む)の合計35名でした(医45名、薬12名、保前期14、後期4名、助産学10)。また今年度は、学生時代に大学院の単位を取得する「マルチドクタープログラム」の修了者2名が初めて大学院に入学しました。その後場所を2号館第3講義室に移して、入学者を対象にオリエンテーションを行い、「マルチドクタープログラム」を今年度から受講する4名の学部学生もオリエンテーションに参加しました。宮崎歯学部長と井上運営委員長から、研究を開始するにあたっての心構え、研究倫理の順守および単位取得における注意事項などの説明を受けました。新入学の諸君が立派な業績を上げて、本学歯学部の研究活動を推進するとともに歯科医学の発展に貢献するよう願っています。



## 白衣授与式 進級式が行われました

教育委員長 井上 美津子

平成26年度昭和大学歯学部白衣授与式は3月31日(月)の午前9時45分より上條講堂で行われました。新5年生の臨床実習はすでに3月24日から始まっており、1週間の予備実習が終わった後の白衣授与式となりました。臨床実習責任者の長谷川教授の司会のもと、教育委員長の開式の辞、校歌斉唱、宮崎歯学部長からの告辞と式は進み、続いて臨床系教授・部門長8名から学生に順次白衣の授与が行われました。昭和のワッペンをつけた新しい白衣を身に着けることで、新5年生は歯科病院での臨床実習への心構えを新たにしたものと思われまふ。引き続き小出学長、榎歯科病院長、石川看護師長からの祝辞と臨床研修を修了した先輩からの暖かいアドバイスがあり、最後に昭和大学宣言を新5年生代表の峯島志奈さんを中心に読み上げました。学生部長による閉式の辞のあと、桜が満開の上條講堂の前で記念撮影を行いました。

また、2年生のオリエンテーションは3月3日～12日に行われましたが、3、4、6年生の進級式は4月1日に各々の講義室で実施されました。進級式では、学部長の挨拶、履修要項の説明、学生生活の注意、学務部からの連絡、学年主任・副主任の紹介などに加えて、学年によっては共用試験の説明や総括講義・臨床研修の説明なども行われました。

新年度に学生の皆さんが意欲を持って過ごしていただけるよう、教職員一同サポートしていきたいと思ひます。



## 昭和大学入職式が行われました

歯学部長 宮崎 隆

学校法人昭和大学の平成26年度入職式が、4月1日午前10時から上條講堂で開催されました。本年度採用された新入職員は、教育職員192名、研修医(医師)61名、研修医(歯科医師)79名、事務員41名、看護師・助産師425名、薬剤師レジデント・薬剤師9名、診療放射線技師26名、臨床検査技師27名、臨床工学技士11名、その他の医療技術系職員51名の合計922名でした。式典は昭和大学管弦楽団の演奏で厳かに開式しました。最初に小口勝司理事長から「建学の精神である至誠一貫のもとで全ての新入職員が医療を通じて社会に貢献するとともに、

建学の趣旨である優れた医療人育成のために学生や後進の教育にも責任を持って欲しい」と挨拶がありました。引き続き小出良平学長から、「本学の建学の精神を忘れず職務に励むとともにそれぞれの業務を楽しむように」と挨拶がありました。小口理事長から新入職員代表の水谷隼人さんに辞令が交付され、水谷さんが新入職員宣誓をしました。参列者全員で昭和大学宣言を唱和し、引き続き校歌を斉唱して10時半に閉会しました。入職式終了後には、人権啓発推進課の山口課長の人権啓発に関する講演がありました。



## 昭和大学江東豊洲病院開院記念会が開催されました

歯科病院長 榎 宏太郎

去る3月22日に、昭和大学江東豊洲病院開院記念会が開催されました。記念会の前には病院開所内覧会も開かれ、新しく生まれ変わった病院の門出を内外の多くの関係者がお祝いしました。

本院は、江東区豊洲5丁目に位置し、約一万五千平方メートルの敷地を擁します。当日は天気にも恵まれ、光輝く運河の水面と院内に射し込む陽光の清々しさに、明るい未来が予感されました。

病院随所の様々な配慮に驚かされます。例えば、診療用ブースは各科固定とせず使用の自由度が格段に高められており、混雑や無駄の改善に大きな効果を生みそうです。また、診療用コンピュータ類も高さが絶妙な特注ワゴンに搭載され、移動や使用時の利便性も大きく増加しております。バックヤードのスペースも広く、機材やスタッフの動線を綿密に計算された構造となっております。歯科・歯科口腔外科診療室も無駄が無く、ユニットも機能的な配置となっております。

開院記念会における江東区長の祝辞からも、いかにこの日が待ち遠しかったか、江東区民の大きな期待がひしひしと伝わってきました。「女性とこどもにやさしい医療」を掲げる本院の開院は、地域医療に新たな一ページをもたらすものと確信されます。



## 至誠塾入塾式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

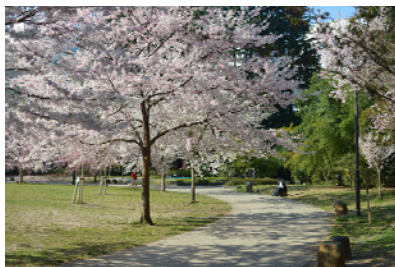
去る4月9日(水)午後6時から、旗の台校舎1号館5階カンファレンスルームにおいて、至誠塾の入塾式が開催されました。今年の新入塾生は6回生になります。教育職員、事務職員、および看護師ほかの多様な医療職に従事している16名の新入塾生を迎えました。歯学部関係では、歯科矯正学講座の山口徹太郎先生と歯科病院歯科衛生室の茂木香苗さんが入塾しました。歯科衛生士は3人目になります。式終了後、会場を移し、2年生に在籍の5回生を交えて歓迎会を開催し、懇親を深めました。2年間のコースですが、研鑽をつまれることを期待します。



## 厚生労働省指導医療官に就任しました

美容歯科学部門 谷 千尋

3月末で昭和大学を退職し、4月1日より厚生労働技官(指導医療官)として東北厚生局に着任いたしました。昭和大学在職中は、様々な方に大変お世話になりましたことをまず御礼申し上げます。私の所属している指導監査課では保険医や保健医療施設等に対し、保険診療時の請求に関する指導等を行っています。東北厚生局には歯科の指導医療官が私を含めて2名勤務しており、東北6県のうち、宮城、山形と福島を担当しています。仙台は街の中心が非常にコンパクトにまとまっており、少し郊外に出かけると風光明媚な自然が広がり、休日のスケジュールが充実しそうです。すでに市内は桜が満開となっており、通勤の際に良い気分転換をしています。



通勤の際に通る錦町公園の桜並木

## 昇任・採用

広報委員長 中村 雅典

堀田康弘准教授(歯科理工学部門)、玉岡慶鐘講師(美容歯科学部門)、増田陸雄講師(歯科麻酔学部門)、田中晋平講師(歯科補綴学講座)、清本聖文助教(口腔生理学講座)、阿部友佳助教(歯科補綴学講座)、塩竈素直助教(口腔外科学講座)

## 昭和歯学会が昭和大学学士会に統合されます

学士会運営委員 上條 竜太郎

昭和歯学会は昭和大学歯学部の研究発表の場として、また歯学の進歩発展に寄与する事業を行うことを目的として、昭和56年6月に設立された学術団体です。以来33年の間、学術集会の開催、学科誌の刊行、その他の事業を通じて、本学歯学部の学術活動を支えてきました。一方本学では、主に医学部関係会員、薬学部関係会員をそれぞれ対象にした「昭和医学会」と「昭和薬学会」が学術活動を展開してきました。この度、学部毎のこれらの活動を統合し、昭和大学の学会として「昭和大学学士会」が設立され、昭和歯学会も本年4月1日、本会に合流致しました。その結果、昭和歯学会の学術雑誌である「Dental Medicine Research」は「昭和学士会雑誌」と「The Showa University Journal of Medical Sciences」に、「昭和歯学会総会・例会」も「昭和学士会総会・例会」に統合されました。

今後の学術活動の詳細については昭和学士会にお問い合わせ下さい。なお、本年度の昭和大学学士会例会(歯学部会〔仮称〕)は平成26年6月28日(土)(昭和大学歯科病院)、昭和大学学士会総会は平成26年12月6日(土)(旗の台キャンパス)でそれぞれ開催されます。

## 富士吉田教育部兼務教育職員に就任しました

口腔微生物学講座 桑田 啓貴

歯学教育学部門・片岡先生より富士吉田教育部の兼務教育職員のバトンを引き受けました。早速、明治神宮会館での入学式のあと、新入生と同じ団体バスに乗り、吉田校舎にて今年一年間指導担任として受け持つ学生の皆さんと対面しました。旗の台では2~4年の歯学部生の指導を担当していますが、富士吉田では4学部混成の指導担任となります。話してみますと学部ごとに個性があり興味深いものがありました。引き続き、後日執り行なわれた入寮式では小口理事長、小出学長のご講演を拝聴し、昭和大学への理解が一層深まりました。その他新入生歓迎のウェルカムパーティーや入寮説明会など行事は盛りだくさんでした。4月中旬にも関わらず肌寒い吉田校舎の桜の花はつぼみのままです。分厚く冠雪した富士山を間近に見つつ、新1年生の皆さんが退寮日を無事迎えられるよう祈らずにはられません。



## 臨床実習にチェックリスト型電子ポートフォリオが導入されました

総合診療歯科学部門 長谷川篤司

平成26年度D5臨床実習にチェックリスト型電子ポートフォリオを導入しました。従来の電子ポートフォリオは実施サイト内のみで関連成果物(業績)を集積するため、振り返りはサイト内に限られていました。現在、臨床実習は診療科に基づいた4つの実習ユニットをローテーションさせて実施していますが、一般歯科診療は実習ユニットに限らず多くの科で実施されており、自らが経験した診療参加症例を通年で記録・管理することが難しい状況でした。今回、一般診療を中心とした診療プロセスを統一チェックリストに統合し、リスト内の項目に基づいたポートフォリオを作製することにより業績(診療成果)を容易に、また確実に集積できるようになりました。外来における入力端末としてアップル社製 iPad Airを採用しており、トライアル時の学生からの評判も上々です。本年度はまず、保存歯学系臨床実習で導入を開始していますが、順次、補綴歯学系、口腔外科臨床実習に導入を予定しています。



## 第4回 IT を活用した教育センターワークショップが開催されました

歯学教育学部門 片岡竜太

本学が幹事校となり北海道医療大学、岩手医科大学と各大学と密接な関係を有する蒲田・大森・目黒区・荏原・品川歯科医師会、札幌・北海道歯科医師会、盛岡市・岩手県歯科医師会が連携して「ITを活用した教育センター」を構築してから1年半が経過しました。超高齢社会の到来に対応できる歯科医師を養成する教育プログラムを作成するために4つのワーキンググループ WG1: 口腔乾燥症(責任者: 美島教授) WG2: 基礎疾患を有する患者の歯科診療(責任者: 岩手医大 城教授) WG3: 病院における急性期チーム医療(責任者: 弘中教授) WG4: 地域における回復期チーム医療(責任者: 北海道医療大 越野教授)に分かれて3月27日に連携校と連携歯科医師会から50名の参加者を集め、第4回の IT を活用する教育センターのワークショップを開催しました。

昨年本 WG で作成した e-ラーニングを主体とした IT 教材を3連携校の3年生の正規の授業の中で実施しました。そのアンケート結果や正答率などの情報と実際の e-ラーニングの画面を見ながら、参加者で活発な討論がされました。H26年度の授業実施に向けて具体的な修正点が明らかになりました。昨年度 e-ラ

ーニングを主体とした教育を受けた4年生を対象に今年度は臨床推論能力を養成するために、VP(仮想患者)システムを活用した IT 教材を作成しています。歯科医師会の先生方の意見も取り入れて9月の授業準備が進みました。また授業運営をしていただいた IT 企業(金沢電子出版とピコラボ社)と各大学の事務系職員の方々と連絡会を行い、IT 授業運用マニュアルを作成しています。3連携大学が歯科医師会と連携して行っている学外における学生教育の現状を歯科医師会および大学で共有しました。本学では今年度から必修授業として、歯科医師会の協力を得て地域連携歯科医療実習を始めます。この実習では IT 教材で学んだ事を臨床現場でどのように活用するかを学びます。

この取組を核として、本学ではより社会のニーズに対応できる歯科医師を養成していきたいと考えております。参加していただいた各大学の皆様、歯科医師会の先生方、IT 企業の方々、WS の運営にご尽力いただいた本学事務関係者、フォトセンター、総合情報管理センター、IT を活用した教育センターの皆様に御礼申し上げます。



## 受賞

広報委員長 中村 雅典

- ・第23回日本有病者歯科医療学会総会・優秀発表賞(ポスター)  
坂井信裕、唐川亜希子(歯科薬理学講座)
- ・第123回日本補綴歯科学会学術大会 課題口演賞  
酒井拓郎(歯科補綴学講座)
- ・日本補綴歯科学会 平成25年度 奨励論文賞  
葎澤秀一郎(歯科補綴学講座)

## 行事予定

広報委員長 中村 雅典

- 6月 1日(日): 学祖祭
- 6月 5日(木): D2防災訓練
- 6月14日(土): 父兄会総会
- 6月21/22日(土、日): 富士吉田祭祭・オープンキャンパス

## 編集後記

歯科薬理学講座 坂井 信裕

年度始めのお忙しい時期にも関わらず、ご寄稿下さいました諸先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。